



「今年の夏休み」

校長 望月雄紀

8月23日に学校には元気な顔と声に戻り、1学期後半がスタートしました。皆さんの夏休みはいかがだったでしょうか。ちょうど休みの期間の7月26日から8月11日にオリンピックのパリ大会が開催され、熱戦が繰り広げられましたね。参加国は206国で、日本のメダル数は金20個、銀12個、銅13個合計45個と素晴らしい結果を残しました。わたしは連日テレビに釘付けでした。メダルを獲得して、努力が形として実を結んだアスリートもいればそうでない人もいましたが、どのアスリートのインタビューを聞いても、計り知れないプレッシャーの中で戦っていたことと応援や家族、仲間、コーチ、監督への「感謝」の気持ちを表していたことが印象に残りました。やはり、人は人と関わり合って、常に「感謝」の気持ちを持って生きることが大切であると改めて思いました。8月28日から始まっているパラリンピックもメダルラッシュで、元気をもらっています。選手の皆さんに感謝です。

ところで、本校もいろいろな意味でとても暑い夏休みでした。夏休み期間中に開催された中体連の県大会では、剣道部（先行開催）、女子ソフトテニス部、野球部、サッカー部、個人では水泳、ソフトボールが熱戦を繰り広げました。どの部活動も学校代表であることはもちろん、那覇地区代表でもあることも意識して試合に臨んでいました。剣道部と女子ソフトテニス部、ソフトボールはおしくも1回戦敗退、水泳も惜しくも九州大会は逃してしまいましたが、次年度へのリベンジを誓っていました。野球部は強豪西崎中学校に競り勝ち1回戦を突破して2回戦で敗退しました。安岡中学校との合同チームで連携が大変だったと思いますが、ベスト16という結果を残すことができました。サッカー部は1回戦羽地中学校、2回戦首里中学校に勝利して、ベスト4をかけた具志川中学校との試合で惜しくも負けてしまいましたが、堂々のベスト8という結果を残しました。また、吹奏楽部が第64回沖縄県吹奏楽コンクールに出場し、見事金賞に輝きました。そして、フラッグフットボール中学生全国大会ジュニアカップ2024沖縄地区予選に本校の有志23名が出場しました。仲井真中学校と対戦して負けてしまいましたが、挑戦する姿勢は素晴らしいと思いました。

新体制になった各運動部は、強化大会等でがんばっています。吹奏楽部は10月の定期演奏会に向けて練習に励んでいます。今後は、駅伝や旗頭も控えています。一つ一つの取り組みを楽しみながら充実したものにしてほしいと思います。それが、学校の元気の源となっています。

リーダー研修会

7月31日、8月1日の2日間でリーダー研修を実施しました。初日の31日には、初めての取り組みである、まちなかEnglish Questを実施しました。

これは、英語を使いながら与えられたミッションをグループのメンバーと協力して達成していく中で、主体性や協調性、忍耐力など養うことを目的としたプログラムです。首里城公園内を舞台に、約80人の生徒が16チームに分かれ、ミッションに取り組んでいました。



生徒の感想を紹介します。

○外国人との会話を通して、新しい単語を知ることができたし、新しい表現も知ることができた。また自分の力での会話も楽しかった。

○英語についていままで話したいと思っていただけで、触れ合う機会があまりなかったけど、実際外国人と話して、自分がどれだけ話せるかなどわかったし、英語がとても楽しかった。

○日本語では普通に言える首里城の魅力などを英語で言うのは難しかったけど、Englishスピーカーの



補助もあってしっかりとと言えることができたのが良かった。

○人の国のことも知られてよかったし、自分の国についても教える機会になったので、深く知ることができました。ランウェイみたいな感じで、自分の靴を紹介する課題が楽しかった。他の言語の人と話すことで自分の力なども知ることができて良かった。

(写真(左): ミッション遂行中)



2日目は、学校にて5団に分かれて、団のスローガンや団アピールについて話し合いました。どの団も積極的に話し合いながらスローガンを決めて、団アピールの振り付けに一生懸命に取り組んでいました。本番がとても楽しみです。



小中一貫授業研究会



9月4日(水)に上間小学校にて、寄宮中学校グループ小中一貫教育授業公開

及び情報交換会が開催されました。今回は初の試みで、1年生から6年生、特別支援学級も含む全ての21学級で授業公開がありました。真和志小、与儀小、そして本校職員が授業参観をしました。どの学年も落ち着いた雰囲気です。



授業が進められ、グループ活動等でお互いに学び合う姿も見られました。その後の授業説明・情報交換会では、各学年事と特支学級の7グループに分かれて、活発な話し合いがなされました。授業についてはもちろん、いろいろな情報交換ができました。小学校の丁寧な取り組みを知ることで、中学校ではどのように取り組んで行くかを改めて考えられる場面もありました。児童生徒の自己肯定感の高揚を図るために、小中連携した継続性のある取り組みの必要性を実感しました。

職業人に学ぶ

7月12日の寄未知タイム(総合的な学習の時間)に1学年がキャリア学習会「職業人に学ぶ」を実施しました。繁多川公民館の全面協

力を得て、5コースに分かれて総勢10名の職業人に講話をしていただきました。職種は印刷業、保育園園長、学習塾経営、食品製造業、図書館司書、市役所職員、調理師、建設設計士、保健師、舞台プロデューサーなど、とてもバラエティーにとんでいました。各分野の職業人の話に、生徒は興味深く聞き入っていました。



楽器寄贈

8月5日に、アルトサキソフォン(アルトサクソ)の寄贈がありました。寄贈していただいたのは、本校生徒会副会長の田港 瑛士さん(2年5組)の祖父である田港 朝正さんと田港 哲也さん(父)です。祖父の朝正さんは本校卒業生の2期生で、吹奏楽部創設に尽力されたそうです。現在も現役のプロのサクソ奏者で、バンマス(バンドマスター)をされているとのこと。今回は、本校の70周年への寄付と吹奏楽部の激励を兼ねて、とても高価な楽器を寄贈していただきました。



お帰りのなる前に音楽室の立ち寄っていただき、練習している吹奏楽部を直接激励していただきました。吹奏楽部も今回のコンクールで金賞を受賞した曲を披露して、激励に励んでいました。大先輩である田港さんの満面の笑顔が印象に残りました。

安全学習

本校では、那覇警察署少年課職員の協力を得て、年間3回に分けて非行防止教室(安全学習)を開催しております。去った6月3日には「サイバー犯罪被害防止教室」でSNS上でのトラブルについて、6月24日の「少年犯罪防止」では、喫煙、飲酒や夏休みの過ごし方について講話をいただきました。10月には「薬物乱用防止」についての講話をいただくことになっています。最近県内においても、若年層の大麻所持や使用での逮捕の記事を新聞で見る機会も多くなっています。今後も非行防止に取り組んで行く必要性を強く感じます。